



医療機器レギュラトリーサイエンス研究会 関西2016研究会 開催案内

- 開催日時： 2016年 7月 19日(火) 13:00~16:50
- 場 所： 神戸大学六甲台第2キャンパス 瀧川記念館2階大会議室
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 (JR六甲道または阪急六甲から市バス36系統で
神大文理農学部前下車) http://www.org.kobe-u.ac.jp/svsc/documents/takigawa_map.pdf
- 主催 医療機器レギュラトリーサイエンス研究会
- 協賛 神戸大学 六甲医療機器開発研究会
(一社)医療イノベーション神戸連携システム(MIKGS)
(一社)日本ファインセラミックス協会、(株)MICメディカル
- 参加資格： 会員登録(下記URLより)

13:00	開会 神戸大学大学院工学研究科長 富山 明男
特別講演 質疑応答 13:10-14:00	<p style="text-align: center;">「診療報酬への費用対効果評価試行導入の目指すところ」 大阪大学大学院医学系研究科 教授 田倉 智之 司会 PMDA関西支部長 田村 敦史</p> <p>医療技術の適正な進歩には、社会経済と調和した革新性等の評価が不可欠といえる。わが国でも、平成28年4月より医療保険制度のなかで費用対効果制度の試行的導入が始まった。本講演ではこの動向の背景と方向について、本邦における医療材料の医療経済的評価のケースを交えながら論じ、当該領域の発展の道標としたい。</p>
講演1 質疑応答 14:00-14:50	<p style="text-align: center;">「神戸医療産業都市の現状と神戸経済に与える影響について」 神戸市医療・新産業本部医療産業都市部長 三重野 雅文</p> <p>神戸市では、ポートアイランドにおいて先端医療技術の研究開発拠点を整備し、産学官連携により、医療関連産業の集積を図る「神戸医療産業都市」を推進している。日本最大級のバイオメディカルクラスターに成長した「神戸医療産業都市」が現在の姿に至るまでの成り立ちと今後の課題等、及び神戸経済に与える影響についてお話しする。</p>
14:50-15:10	休 憩
講演2 質疑応答 15:10-16:00	<p style="text-align: center;">「医療機器産業が求める診療報酬のありかた」 (株)メディコン薬事戦略部 斉野平 一弘</p> <p>(1)特定保険医療材料の機能区分制度の課題、(2)イノベーション評価の事例、(3)MTJAPANの保険制度改革への取組み、(4)医療機器の特徴をより評価できる保険制度への取組み、についてお話しする。</p>
講演3 質疑応答 16:00-16:50	<p style="text-align: center;">「中長期ECMOの実情と診療報酬のありかた」 神戸大学大学院工学研究科 教授 山根 隆志</p> <p>短期ECMO(呼吸循環補助)はすでに循環器治療(PCPS)として実用化されているが、新たに一体型ECMOが登場して、救急搬送用および中長期呼吸補助として機器性能が向上している。しかし技術の向上に見合った、新たな診療報酬(保険)は見込めるのか考える。</p>
16:50	閉会 会長 山根隆志 17:00-18:30 交流会 会場1階(会費当日受付)

本会は産総研コンソーシアム「医療機器レギュラトリーサイエンス研究会」として年2、3回の講演会を実施しています。年会費は、法人会員(企業、団体が1口参加5人まで)30,000円、一般個人会員6,000円、公的機関個人会員(大学、官庁、独法)無料となっています。

【コンソーシアム事務局】

国立研究開発法人産業技術総合研究所
健康工学研究部門
〒305-8564 茨城県つくば市並木1-2-1

会長 山根 隆志 (神戸大学工学研究科教授)

副会長 廣瀬 志弘 (産総研主任研究員)

URL: <http://staff.aist.go.jp/yamane.t/RS/index.htm>

E-mail: rs-seminar-ml@aist.go.jp